

神奈川県「さがみはら津久井産材」を採用、再造林・育林費用を林業関係者へ直接還元
「ザ・パークハビオ 蒲田レジデンス」で森を育てる木材調達を实践
木のぬくもりを感じる共用空間と森林循環への貢献を両立

三菱地所レジデンス株式会社（以下、三菱地所レジデンス）は、大田区西蒲田で開発中の賃貸マンション「ザ・パークハビオ 蒲田レジデンス」（以下、本物件）において、神奈川県相模原市の林業関係者の木材を指定調達し、共用部に採用します。

本物件では、木や緑の潤いを通じてやすらぎを感じる住環境の実現を目指し、エントランスホール・ラウンジに、三菱地所レジデンスが国産材活用で連携している地域の一つ、神奈川県相模原市の「さがみはら津久井産材」を導入します。資源豊かな国産の木材を活用するだけでなく、木材購入費に加え、森の管理に必要な再造林・育林費用を林業関係者に直接届けることで、森林を次世代へつなぐ循環の創出にも貢献します。また、三菱地所グループの MEC Industry 株式会社が製造する CLT 材を活用した造作家具の採用も予定しており、三菱地所グループ各社が連携し、国産材を活用した木質化を進めています。

本取り組みは、三菱地所レジデンスが推進する持続可能な木材活用を目指す取り組み「木の守プロジェクト」の一環として実施するものです。

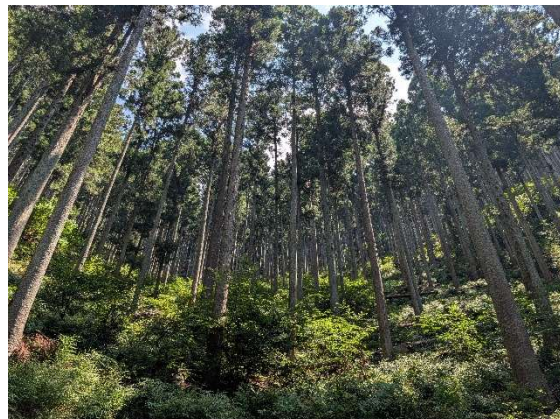
【ザ・パークハビオ 蒲田レジデンスにおける木材活用の特徴】

- (1) さがみはら津久井産材を指定調達～地域と直接つながりトレーサビリティを確保
- (2) 再造林・育林費用を林業関係者へ直接還元
スギ苗木代（約 2ha 分・苗木約 4,000 本）＋地拵え及び植付施業費＋5 年間育林費に寄与
- (3) 国産材を活かした共用空間創出～津久井産材と CLT 材をエントランスホール・ラウンジに活用

三菱地所レジデンスはこれまで、秋田県大館市や埼玉県飯能市をはじめとする各地域の林業関係者との連携を通じて国産材の利用拡大を進めてきました。本取り組みでは、三菱地所レジデンスとして初めて木材購入費に加え再造林・育林費用を林業関係者に届けることで、木材活用と森林循環の両立を目指します。



▲さがみはら津久井産材を活用した共用ラウンジ（イメージ）



▲木材の供給元となる相模原市津久井地区の森林

三菱地所レジデンスは、「木の守プロジェクト」を通じて、国産材の活用と木材トレーサビリティを徹底することで、森を守り、CO₂吸収源の確保につながる取り組みを推進しています。今後も林業関係者と向き合いながら、森の未来を共につくる持続可能な住まいづくりを推進してまいります。

■さがみはら津久井産材を指定調達～地域と直接つながりトレーサビリティを確保

本物件では、神奈川県相模原市津久井地区の木材を共用部に採用します。津久井地区は首都圏に近接しながら豊かな森林資源を有する地域であり、木材の生産から加工まで地域の林業関係者が連携して取り組んでいます。相模原産木材の活用にあたっては、林業関係者の木材を指定調達し、どこの山で育ち、どのように管理されてきた木材であるかを確認できるトレーサビリティを確保します。人権や生物多様性に配慮した適切な森林管理が行われている木材を調達することで、再生林の促進やCO₂吸収源の確保など、持続可能な森林循環につなげていきます。

また、首都圏に近い地域から調達することで輸送距離を抑え、環境負荷の低減にもつなげます。さらに、丹沢山地北側の寒冷な環境で育つ津久井材は、年輪の目が詰まった良質な木材であることも特徴です。

本物件で活用する木材は、こうした林業関係者との連携により直接指定して木材利用するもので、都市部の住まいづくりと地域の森林をつなぐ取り組みとなります。

■再生林・育林費用を林業関係者へ直接還元

スギ苗木代（約2ha分・苗木約4,000本）＋地拵え及び植付作業費＋5年間育林費に寄与

本物件で活用する木材は、木材購入費に加え、苗木代・作業費・育林に必要な費用を相模原の林業関係者に届けます。

国内では、伐採後の再生林や育林に必要な資金が十分に行き届かず、木材の利用だけでは持続的な森林循環の実現が難しい状況にあります。

三菱地所レジデンスはこれまで林業関係者との連携により木材を指定して採用する取り組みを進めてきました。本取り組みは、三菱地所レジデンスとして初めて木材購入費とは別に再生林・育林費用を届けるものであり、木材活用と森林整備の両面から森林循環への貢献を目指します。

なお、本物件ではさがみはら津久井産木材を約2.2㎡活用する計画で、木材利用による炭素固定量は約1.41t-CO₂となる見込みです。1haあたり2,000本の植林と5年間の育林に必要な費用を基準に、木材利用量に応じた再生林・育林費用を森林へ還元します。



三菱地所レジデンスにおいて、再生林・育林費用まで含めて木材を購入する取り組みは初めてです。

■本物件での連携先（神奈川県相模原市）

木材調達：有限会社杉本林業

木材加工：株式会社市川屋

コーディネーター：コナーズジャパン株式会社

■国産材を活かした共用空間創出～津久井産材と CLT 材をエントランスホール・ラウンジに活用

ザ・パークハビオ 蒲田レジデンスでは、木や緑の潤いを通じてお住まいいただく方がやすらぎを感じる住環境の実現を目指し、共用部に国産材を活用します。都市生活の利便性を享受できる蒲田地域は古くは梅屋敷や蒲田菖蒲園など自然豊かな行楽地から繁華街へと発展してきました。本物件にお住まいいただく単身者やDINKSのお客さまが一日の活動を終えて帰路についたときに、心身を解きほぐしリラックスできるよう、木のぬくもりや自然素材の魅力を身近に感じられる空間を創出し、居住者が心地よく過ごせる住まいを目指します。

共用部のエントランスホール・ラウンジの天井・壁面ルーバーに「さがみはら津久井産材」を採用します。エントランスホールとラウンジ・メールコーナーを区切るルーバーは森林をイメージした津久井産木材を採用予定です。その他、三菱地所グループのMEC Industry株式会社が製造するCLT材を活用した造作家具の採用も予定しています。三菱地所グループ各社が連携し、国産材を活用した木質化を進めています。



▲さがみはら津久井産材と MEC Industry の CLT 材を活用した共用ラウンジ(イメージ)

■「ザ・パークハビオ 蒲田レジデンス」その他の特徴

【立地・周辺環境】

- ・都心部や空港へのアクセスに便利な JR 京浜東北線「蒲田」駅から徒歩 5 分
- ・駅直結の商業施設、商店街やスーパーマーケットが近接した利便性の高い立地

【建物計画】

- ・家具配置や収納など暮らしやすさにこだわった住戸プラン
- ・1K(25.52～26.01 m²)、1DK(28.62 m²)、1LDK(33.16～39.78 m²)、2LDK(45.42 m²)の幅広い住戸構成
- ・カウンターデスクやソファ席など気分や目的に応じて利用いただけるラウンジを設置
- ・大地に根を張る木の力強さや風に揺らぐ枝葉の繊細さをイメージした外観デザイン

【サステナブルな取り組み】

- ・建設時に使用される型枠木材は認証材を使用した「型枠トレーサビリティ」を導入（地上部分）

<https://www.mecsumai.com/kinomori/traceability/>

- ・生物多様性の保全に取り組む「バイオネットイニシアチブ」による植栽計画

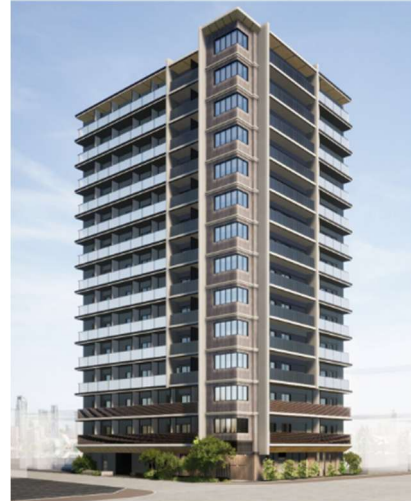
<https://www.mecsumai.com/bionetinitiative/>

- ・災害時に入居者同士が助け合う防災対策「ファーストミッションボックス」を導入

<https://www.mec-r.com/sustainability/resilience.html>

■「ザ・パークハビオ 蒲田レジデンス」物件概要

所在地：東京都大田区西蒲田7丁目42番2（地番）
交通：JR京浜東北線「蒲田」駅徒歩5分
敷地面積：705.30㎡
延床面積：5,006.99㎡
構造・規模：鉄筋コンクリート造地上14階建
戸数：117戸
間取り：1K～2LDK
専有面積：25.52㎡～45.42㎡
竣工：2028年8月下旬予定
入居開始：2028年8月下旬予定
設計：株式会社設計工房イー・ディー
デザイン監修：株式会社ジャイロアーキテクツ
施工：日本国土開発株式会社



▲ザ・パークハビオ 蒲田レジデンス外観完成予想 CG

■MAP



【参考】「木の守プロジェクト」について

三菱地所レジデンスは、国産材活用や木材トレーサビリティの確保、森林循環の促進などを目的とした「木の守プロジェクト」を推進しています。詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。

URL: <https://www.mecsumai.com/kinomori/>

【参考】三菱地所レジデンスの木材活用について

三菱地所レジデンスは、木造・木質化、木材トレーサビリティの向上、林業関係者との直接連携による木材調達などに取り組んでいます。

<https://www.mecsumai.com/kinomori/works/>

【参考】「ザ・パークハビオ」について

三菱地所レジデンスの高品質賃貸マンションシリーズ「ザ・パークハビオ」では、ブランドスローガンに「その瞬間に、心がはずむ。」を掲げ、一步先のライフスタイルに想いを巡らせ、入居者の皆様やまちに心はずむ瞬間をお届けしてまいります。

<https://www.mecsumai.com/tphb/brand/>

以 上